

「見本合わせ課題」から応用行動分析を学ぶ ワークショップ開催のお知らせ

■見本合わせ(マッチング)課題とは、見本(例えばリンゴの絵)があるときに、選択肢(例えばリンゴの絵とバナナの絵)から見本と同じものを選ぶ...という、障がいのあるお子さんのことばの学習でよく使われる手続きです。また、見本合わせ課題は、自閉症のお子さんの療育・教育に有効であるとされる応用行動分析(ABA)の枠組みで長年研究されてきたものでもあり、TEACCHやPECSで使われる視覚的な手がかりを使うための「基礎」でもあります。

■ただ、見本合わせ課題の手続きは、シンプルではありますが、見よう見まねだけでは適切に課題を行うことが難しく、支援をする側が様々な工夫や環境設定をすることが必要であるという「奥深さ」を持っています。

■そこで本ワークショップでは、この見本合わせ課題に焦点を当て、特に、障害のあるお子さんを支援する支援者を対象に、講義やロールプレイをしながら、お子さんに見本合わせ課題をどのように実践していくのかを学んでいきます。そして、見本合わせ課題を通して、応用行動分析を「体験的に」学んでいくことも目的としたいと思います。

日時: 2012年2月18日(土)10:00~16:00(開場9:30)

会場: 立命館大学衣笠キャンパス創思館401・402(詳細裏面)

対象: 特別支援教育に携わっている学校、幼稚園、保育園の先生や支援員の方、応用行動分析学に興味のある方(学生)等

参加費: 無料

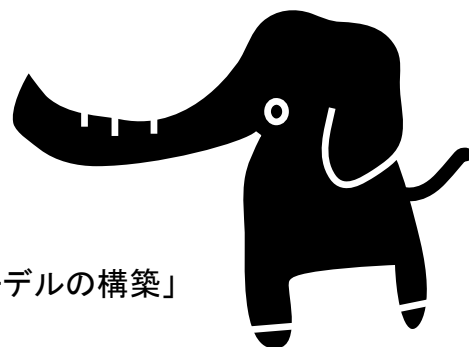
定員: 20名(定員になり次第締め切らせていただきます)

主催: 立命館大学人間科学研究所

講師: 坂本真紀(立命館大学人間科学研究所 客員研究員)

アシスタント: 土田菜穂(同上)

申し込み、問い合わせ先: 下記のメールアドレスに
参加される方のお名前とご所属をお知らせください。
maki.hasu530@gmail.com (坂本宛)



本企画は、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
「大学を模擬社会空間とした自立支援のための持続的対人援助モデルの構築」
の研究成果として広く社会に発信するものです。

立命館大学衣笠キャンパスへのアクセス

■市バス15, 50, 55, 59, 快速202, 快速205

または, 京都バス高雄京北線で

立命館大学前下車(地図中の※印付近がバス停です)

■創思館は地図中の24番の建物になります(正門を入り, まっすぐ進むとロータリーがございます。そのロータリーの右手に見える建物になります)。



■駐車スペースがございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。